

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	産学協働講座〔経営分析の実際〕(Academic-industrial cooperation)		
ナンバリングコード	E30615	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース  ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E048751	クラス名	-
担当教員名	吉本 圭一郎、橋本 堅次郎、長崎 浩介		
履修上の注意、履修条件	この授業は、最低限の会計知識があるという前提のもと、チームで対象企業を分析し、課題解決策を発表してもらいます。授業は演習形式で行います。演習形式ですので、発表者はもちろん、参加者も入念な事前・事後の準備が求められます。事前課題・事後課題にもしっかり取り組んで下さい。なお、履修人数に制限を設ける場合がありますので、受講希望者は、1回目の授業に必ず出席して下さい。また授業の性質上、無遅刻・無欠席を厳守して下さい。		
教科書	授業中に適宜紹介します。		
参考文献及び指定図書	授業中に適宜紹介します。		
関連科目	経営分析、財務管理論、原価計算論、管理会計論、財務諸表論、監査論		

○基本情報			
授業の目的	この授業では、次の2点を主な授業目的としています。 ①社会環境の変化や企業情報、決算書などから企業が抱える課題を読み解く力を養う。 ②企業戦略を支援するソリューションを考え、企業に提案する実践力を養う。		
授業の概要	大分県に実在する企業を題材として、金融機関(三井住友銀行)とともに、事例とする企業向けのソリューション提案を考える授業です。対象企業は年度により変わりますが、これまで株式会社ジョイフルや株式会社ホームインブループメントひろせ、株式会社トキハ、株式会社cotta、FIG株式会社といった企業を対象としてきました。 この授業は、金融機関が実際にどのような視点や手法で企業分析をおこなっているか、またさらにそれらを活用してどのようなソリューション提案をおこなっているか、などを学べる実践的な授業となっています。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー I : ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目		
実務経験のある教員による授業科目	本授業の実務経験として、民間企業等において経営戦略立案業務に従事。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①企業分析への関心: 企業や業界に関心を持ち、その分析手法を実際に活用できる。②チーム活動: チーム活動に取り組むことができる(主体性)。また、自分の役割を果たすことができる(状況把握力)。		10点	20点
【知識・理解】	①情報分析力: 収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。		5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力: チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる(発信力)。また、相手の話や意見を聴くことができる(傾聴力)。②プレゼンテーション力(情報スキル、発信力): 自分の責任範囲の発表ができる。		20点	15点
【思考・判断・創造】	①情報収集力: インターネット等を用いて情報を収集できる。②課題発見力: 収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。③文章力: 自分の責任範囲の成果が記述できる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックシートの書き込み状況を総合的に評価します。(40点)</li> <li>・最終プレゼンのパワーポイント資料、企画書を総合的に評価します。(チーム評価&amp;個人評価で25点)</li> <li>・最終プレゼンを総合的に評価します。評価結果は最後の授業でフィードバックします。(チーム評価&amp;個人評価で10点)</li> <li>・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(15点)</li> <li>・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合も評価の対象とします。(10点)</li> </ul>	
Sレベル... 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。	
Aレベル... 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。	
Bレベル... 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。	
Cレベル... 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	

○その他	
ワークショップでは、成果物としてチームで企画書(レジュメ)の提出と最終の口頭発表(プレゼンテーション)を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。Eメール(yoshimoto@nbu.ac.jp)。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	産学協働講座〔経営分析の実際〕(Academic-industrial coop) 授業コード	E048751
<b>学修内容</b>			
<b>1. ガイダンス</b> ・授業の目的・内容・進め方・成績評価等について理解します。 ・チーム編成・情報共有・活動方針決定・役割分担を決めます。			
予習	大分の上場企業について、どういう企業があるかを調べる。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>2. 業界分析(1)</b> ・対象企業の担当者による業界および企業の現況について理解します。 ・チームにおける現状整理と課題設定(事後課題)を行います。			
予習	対象企業のHPなどを調べ、どういうビジネスモデルか考える。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>3. 業界分析(2)</b> ・金融機関(三井住友銀行)の担当者による金融業界・業務等の説明を理解します。 ・ワークショップ(授業内容についてのまとめと認識の共有)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、金融業界について調べる。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>4. 企業分析(1)</b> ・おもに定性的な企業分析の手法と財務データとの関連について理解します。 ・ワークショップ(授業内容についてのまとめと認識の共有)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、企業の定性分析の手法について調べる。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>5. 企業分析(2)</b> ・おもに定量的な企業分析の手法、とくに財務比率分析の手法について理解します。 ・ワークショップ(授業内容についての質問、まとめと認識の共有)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、企業の定量分析の手法について調べる。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>6. 企業分析(3)</b> ・対象企業の分析に着手します。これまで学習した定性面からの分析と定量面からの分析を行います。 ・ワークショップ(授業内容についての質問、まとめと認識の共有)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、対象企業の属する業界や同業他社についての情報などを収集する。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>7. 現場見学</b> ・企業見学(本社などの施設を予定)。 ・レポート作成(事後課題)。			
予習	配布された資料などを参考にして、企業現場の課題を考える。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>8. ソリューション組立(1)</b> ・金融機関(三井住友銀行)の担当者によるソリューション組立の説明、演習を実施します。 ・ワークショップ(ディスカッション)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、対象企業の属する業界や同業他社についての情報などを収集する。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	産学協働講座〔経営分析の実際〕(Academic-industrial coop) 授業コード	E048751
<b>学修内容</b>			
<b>9. ソリューション組立(2)</b> ・中間レビューに向けた準備を各チームで行います。 ・ワークショップ(ディスカッション)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、対象企業の属する業界や同業他社についての情報などを収集する。		約2時間
復習	中間レビューにむけた準備(発表資料作成など)を各チームでおこなう。		約2時間
<b>10. 中間レビュー</b> ・チームごとに中間発表を実施します。 ・金融機関(三井住友銀行)の担当者から講評をいただき、改善点を整理します。 ・中間レビューの改善(事後課題)を考えます。			
予習	中間レビューにむけた準備(発表資料作成など)を各チームでおこなう。		約2時間
復習	中間レビューで指摘された改善項目について、各自振り返りをおこなう。事後課題に取り組む。		約2時間
<b>11. 企画書作成(1)</b> ・中間レビューで指摘された改善点をいかにソリューション組立に反映させていくか、各チームで検討します。 ・ワークショップ(ディスカッション)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、対象企業の属する業界や同業他社についての情報などを収集する。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>12. 企画書作成(2)</b> ・ワークショップ(ディスカッション)を行います。 ・企画書の作成、口頭発表準備(パワーポイントの作成)を行います。			
予習	新聞やインターネットを用いて、対象企業の属する業界や同業他社についての情報などを収集する。		約2時間
復習	配布資料を復習し、事後課題に取り組む。		約2時間
<b>13. 企画書作成(3)</b> ・ワークショップ(ディスカッション)を行います。 ・企画書の作成・提出、口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)を行います。			
予習	プレゼン技法について、インターネットなどで情報を収集する。		約2時間
復習	最終プレゼンむけた準備(発表資料作成など)を各チームでおこなう。		約2時間
<b>14. 最終プレゼン</b> ・全チームによる成果発表会を実施します。 ・金融機関(三井住友銀行)、対象企業担当者からの講評。			
予習	最終プレゼンにむけた準備(発表資料作成など)を各チームでおこなう。		約2時間
復習	最終プレゼンの振り返りを各自で行う。事後課題に取り組む。		約2時間
<b>15. まとめ</b> ・最終プレゼンの評価結果をフィードバックします。 ・本授業の振り返りを行います。			
予習	これまでの授業資料を再度、見直しておく。		約2時間
復習	この授業で学んだことを今後はどう生かすか、考える。		約2時間
<b>16.</b> 期末試験は実施しない。			
予習			
復習			